

ごてんば社協だより

# ひだまり

子ども食堂特集号

## 子ども食堂待望の大型冷蔵庫を設置



子ども食堂支援に使わせていただきます!

### 市内に広がる子ども食堂

子ども食堂は、子供やその親、地域の人々に対し、無料又は安価で栄養のある食事や温かな団欒を提供するための福祉活動です。

令和4年度に市内に開設されている子ども食堂は、7か所となりました。

市社協では、職員派遣のほか、寄附の仲介等、立ち上げや運営の支援を継続しています。

活動場所を提供していただける方、子ども食堂を手伝ってみたい方を随時募集中です。市社協への御連絡をお待ちしています。

トヨタ自動車株式会社様(愛知県豊田市トヨタ町1番地)は、2015年から、お世話になっている地域社会にボランティア活動や交通安全活動などを通じて御恩返しをする社内活動を実施し、2021年からはよりSDGsに貢献すべく「Action! SDGs活動」に統合、範囲を広げて推進中。

2021年から1年間、従業員の活動への参加回数に応じてポイントを付与し、金額換算の上、地域の団体等へ寄附する制度を導入されています。

この度、従業員の皆様自身が寄附先を選択できるこの制度の一環として、御殿場市内の子ども食堂のために、市社協へ多額の寄附金をお寄せいただきました。

市社協では、この寄附金を財源として、9月20日(火)、子ども食堂関係者待望の「バナソニック縦型冷凍冷蔵庫2室冷凍タイプ」を「ぶじざくら」交流ロビーに設置しました。

## 御殿場市内の子ども食堂

名称	開設年月	開催日
はらぺこ食堂	平成30年10月	月1回(土・日・祝日等)
てとてとひろば	平成30年11月	毎月第3月曜日 <small>※月の中頃 フードシェアを実施</small>
ウェルカムいちえ	平成31年1月	随時(要相談、予約制)
ポニー食堂	令和4年4月	毎週水曜日・土曜日
トンボ食堂	令和4年6月	毎月土曜日
<small>サードプレイス スリーピース</small> THIRDPLACE Three P's	令和4年6月	平日※定休日の木曜日・祝日を除く。
<small>むすび</small> ささえあい食堂 musubi-結-	令和4年7月	月1回(不定期)



※詳しくは市社協ホームページを御覧ください。



## 御支援ありがとうございます m(\_ \_)m

子ども食堂のために百万円を寄附された  
市民の方からのメッセージ

★どのような想いで寄附されましたか？

子供が大好きで、市内にも「食」に困っている子供たちがいることを知り、美味しい御飯をお腹いっぱい食べてほしいと思い寄附をさせていただきました。

★子ども食堂に応援メッセージをお願いします！

いつも子供たちのためにたくさん料理の提供など運営者の皆様の御尽力に感謝いたします。自分には、お金を寄附することしかできませんが、少しでもお役に立てればと思います。  
これからも、子供たちのために美味しい御飯の提供をお願いいたします。

子ども食堂のために食材を無償提供されている  
株式会社虎屋御殿場工場さんからのメッセージ

★どのような想いで協力されていますか？

会社でも保存食を保管しますが、時期が来れば交換しなければいけなくなり、大量の食材を廃棄する必要があった中、ボランティアとして活躍されている「子ども食堂」の活動の中で少しでも役立ててもらえればと思います。

★子ども食堂に応援メッセージをお願いします！

ボランティアとして「子ども食堂」を運営することに御苦労もあるかと思えます。  
今後継続的に協力し、活動を応援させていただきます。



子ども食堂連絡会  
を開催しています

去る6月28日(火)、市民交流センター「ふじざくら」交流ホールで、子ども食堂連絡会を開催しました。

連絡会には、市内の子ども食堂運営者総勢18人が参加し、活動紹介、意見交換などを行いました。

メインの意見交換の時間には、「食材寄附の受取」や「冷蔵庫の導入」について活発に意見が交わされました。

市社協では、今後も市内の子ども食堂の安定的な運営に資するため、定期的に子ども食堂連絡会を開催していきます。



## 松崎町災害ボランティアセンターへの職員派遣

### 被害状況

松崎町を直撃した台風8号による大雨の影響で、8月14日(日)午前7時頃、雲見地区の中心部を流れる太田川が氾濫し、雲見地区の住宅等約30軒が浸水。

### 支援内容

松崎町災害ボランティアセンター運営支援

### 派遣職員



【派遣期間】8月22日(月)～24日(水)  
地域福祉スタッフ 主事 勝又 康介



【派遣期間】8月25日(木)～26日(金)  
地域福祉スタッフ 主任 湯山 紀美子



【派遣期間】8月29日(月)～31日(水)  
地域福祉スタッフ 主事 長山 太亮

### 派遣先

松崎町総合福祉センター内本部及び雲見サテライト

### 支援内容

1日当たり災害ボランティア約30人(県東部地区在住者のみ)の活動先調整

### 活動内容

- 給水作業
- ぬれた家財の屋外への運び出し
- 家具や室内の拭き掃除作業
- 屋内の泥のかき出し作業
- 床下の消毒・乾燥など



## 災害VC御殿場会員も松崎町を支援

8月24日(水)、「災害VC御殿場」(代表渡邊章夫さん)のメンバー4人も現地入りしました。

活動した女性お二人から手記をお寄せいただきました。



8月24日、私たち「災害VC御殿場」の男性2人、女性2人がボランティアに参加した場所は、雲見海岸より100mほど上流の民宿街の一角。

作業した家は、橋、道路より一段下がっている場所のため一気に泥水が流れ込み床上浸水の被害を受けた様子。

家中の畳、床を剥がし、床下に30センチ以上溜まった泥を取り除き、取り出した泥はバケツリレーにより搬出。大変暑い日だったので、作業は、熱中症対策のため十分な水分補給と休憩を取りながら。

最後に「松崎町災害ボランティアセンター」の方々からの水分補給やら消毒、冷たいおしぼりの差し入れに感謝しつつ、心配りに感激しました。

いつ御殿場にも災害が発生するかわかりません。

実際にボランティアを体験し、災害に見舞われる前の対策をいろいろと考えておく必要があるのではないかと思います。

一番大事なことは、近隣地域のボランティア同士の協力だと痛感しました。

災害VC御殿場 亀本美代子

※左上写真右から3人目

家屋浸水現場へボランティアに行かせていただき、水の凄まじさを痛感させられました。

以前、雲見地区の民宿に泊まったことがあります。川の水は綺麗で、そう多くはなかったと記憶。

災害は山崩れから始まり、一気に木をなぎ倒し、土砂を巻き込みながら川の下流へ。

橋桁や欄干に詰まって川をせき止め、低い土地の民家や民宿に流れ込んだようです。

発災から10日後のボランティア活動は、床下流れ込んだ土砂の除去。家の周り、土台

の隙間という隙間に入り込んだ土砂に、改めて感じる水の凄まじさ。

天気が良く暑い中、ボランティアは、皆黙々と手際よく土砂出しに精を出しました。

発災から10日も経つと、砂埃や泥の臭いも鼻を突くように。

被災された方々のやりきれないお気持ちを考えて、少しでも力になればと思いついて参加させていただき、貴重な体験をしました。

災害VC御殿場 本田 光子

※左上写真右から2人目

令和4年10月発足しました！

## 居場所 御殿場言葉保存会

この意味分かりますか？  
ああぬいて あんびやあ  
あとびつさり あじやら  
あたあする あじなめる



「御殿場言葉保存会」とは…

有志3人で立ち上げた居場所です。

古くから使われている御殿場地方(御厨地方)固有の言葉を後世に残していくために、諸先輩方が今まで残していただいている文献等を参考にしながら、集大成しようとの思いから立ち上げました。御殿場言葉を未来の子供たちに、形として残しませんか？

そのほか戦後の歌謡曲・洋楽オールデイズ(映像付き)等徹底的に昔を懐かしむ企画も計画中心！

**日時** 毎月第2・4水曜日  
午後1時から3時まで  
次回は10月26日(水)です。

**会場** 御殿場市北久原115番地  
(北久原集会所)

**参加費** 毎回無料

**対象者** 御殿場の言葉(方言)に興味のある方は誰でもお気軽に遊びに来てください。

**問合せ** 090-1629-4302(勝又)



御殿場言葉保存会  
事務局 勝又 精一さん



「御殿場言葉保存会」の会場 北久原集会所

## 御殿場市のエイジレス・ライフ活動

都道府県指定都市・中核市及び高齢者関連団体から推薦のあったエイジレス・ライフを実践する個人55人が選考されました。

当市からは勝俣三郎(市内東山在住)さんに「エイジレス章」を章する書状の交付、記念の盾が授与されます。

勝俣さんは、東日本大震災の被災地にも、仲間を募り現地にバスで支援に向かったり、東北の特産品の販売にも力を注いでいます。また、困った方への寄附金活動も盛んに行っています。「自分の持っている善い所を他人のためにさりげなく行うことがボランティア」という信念の下に活動をしています。

9月14日(水)、萩原八千代会で開催された誕生日会では、余興ゲストとして招待され、マジック、ハーモニカ演奏を披露してくださいました。

### 【勝俣三郎さんプロフィール】

1948年2月24日生まれ(74歳)

- ・ 御殿場市ボランティア連絡協議会会長
- ・ 御殿場小山レスキューサポートバイクネットワーク会員
- ・ 福祉車両運転ボランティアの会「たんぼぼ」会員
- ・ 住民参加型生活支援事業「あつたかサポート」支援員

ほか多数

**エイジレス・ライフ**とは…内閣府が推進している高齢者の生活様式。就業であったり社会活動であったり、又は異なった世代との交流であるなど、高齢となった方でも社会の一員として活動できるという生活を見つけていこうというもの。

※ Wikipedia から抜粋



内閣府HP  
令和4年度エイジレス・ライフ活動事例(個人)

